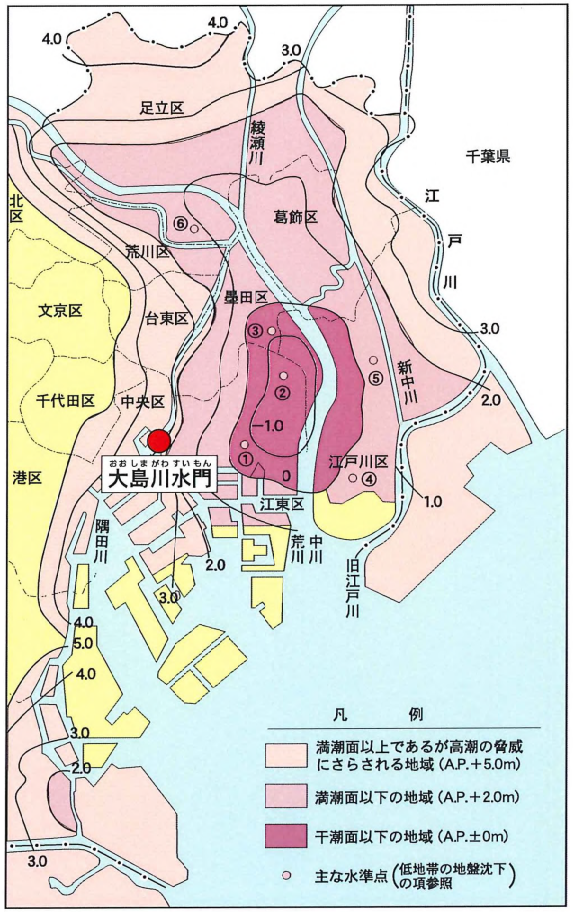
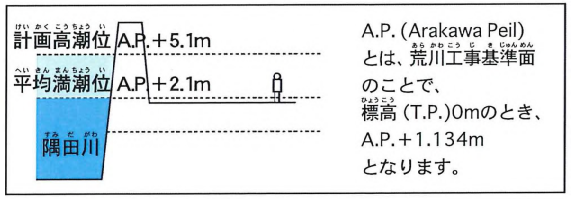
水害のない町に　大島川水門　東京都江東治水事務所

低地帯の地盤高平面図



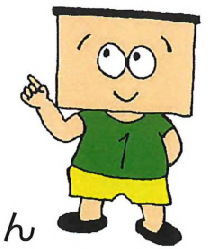


A.P.（Arakawa Peil）とは、荒川工事基準面のことで、標高（T.P.）0mのとき、A.P.＋1.134mとなります。

大島川水門の役割

施設名	大島川水門
所在地	江東区永代一丁目7番15号
形式	鋼製単葉ローラーゲート
材質	ステンレス鋼（SUS316L）
有効幅	11m×2連
門扉高さ	8.75m
開閉時間	約7.2分
開閉速度	1.0m/分
自重閉鎖時間	約3分
扉体重量	47.4t/門
非常用発電機	150kVA×1台
完成年度	昭和33年度（1958年度）完成 平成28年度（2016年度）改修

大島川水門は、大横川と隅田川との合流地点に位置し、周辺地域を水害から守るための防潮水門です。大横川は江東三角地帯を流れる江東内部河川と呼ばれる川の一つです。高潮などにより隅田川の水位が上昇した時には水門を閉鎖し、高潮の浸入による江東内部河川の水位上昇を防ぎ、水害から地域を守ります。

通常は江東内部河川への船の出入口として、閉鎖時には防潮堤として機能します。また、大きな地震があったときにも直ちに閉鎖して津波に備えます。

平成29年（2017年）10月23日台風21号　大島川水門閉鎖